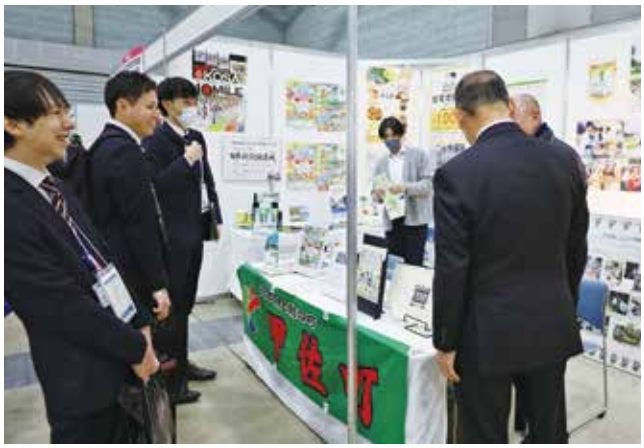
▲山浦代表取締役（右）に感謝状を手渡す甲斐高士町長

町への寄附企業に感謝状

企業版ふるさと納税制度

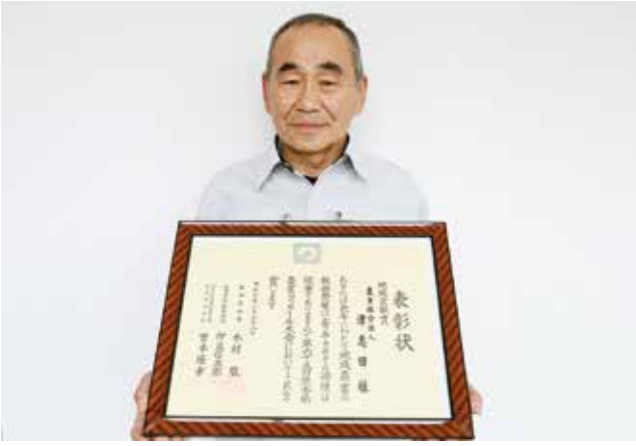
1月22日（水）、町本庁舎で、本町へ寄附いただいた株式会社グッドバイバイ（熊本市・山浦章太代表取締役）に感謝状が贈られました。同社からの寄附は昨年度に続き2回目。寄附金は、安定した「しごと」を創出する基盤づくりや関係人口の創出と定住促進などを基本目標とする「甲佐町まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づく事業のために活用します。


▲甲佐町の出展ブースを観覧する来場者

町の魅力を国内外に伝える

くまもと産業復興エキスポ2025

2月20日（木）、21日（金）、益城町のグランメッセ熊本で「くまもと産業復興エキスポ」が開催されました。同イベントは半導体やものづくり関連の会社など、企業進出により活気づく熊本県の姿を発信することを目的に開催。団体ごとに設けられたブースで、本町では企業進出に向けたPR、観光、移住定住情報などの提供を行い、多数の来場者に町の魅力を発信しました。


▲地域貢献賞を受賞した農事組合法人津志田代表の溜渕さん

農業振興貢献を称えて

熊本県農業コンクール大会で地域貢献賞を受賞

1月28日（火）、熊本県農業コンクール大会表彰式が行われ、農事組合法人津志田（溜渕清裕代表）が地域貢献賞を受賞されました。同大会は地域の農業振興に貢献された個人や団体を称えるもので、同法人は後継者不足や耕作放棄地の増加といった地域課題から農地を守るために法人を設立し、作業効率化に努めたことなどが評価され、今回の受賞となりました。

▲甲佐町のブースで特産品を買い求める来場者

博多駅で町の特産品をPR

甲佐町とさつま町が共同マルシェを開催

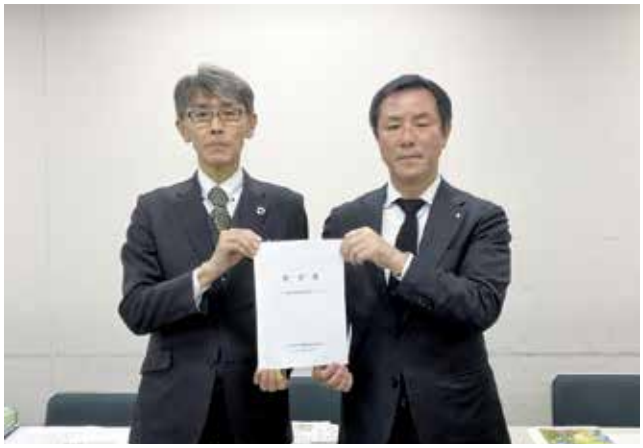
1月18日（土）、19日（日）、福岡県の博多エキナカ・マイング広場で、鹿児島＆熊本ローカルブランドマルシェ～薩摩のさつま＆こうさんもん～が開催されました。「こうさんもん」などの町の特産品を県外にPRすることを目的に、本町とさつま町が共催。連日多くの買物客で賑わい、来場者からは「甲佐町を初めて知った。魅力的な商品を知ることができた」などの感想がありました。

▲サンショウの植え付けについての説明を受ける希望者

生薬生産で産業振興を目指す

宮内地区山椒生産組合が苗木を配布

2月4日（火）、宮内地区社会教育センターで宮内地区山椒生産組合（田上菊夫組合長）がサンショウ苗木の配布会を行いました。当日は植え付けの説明会も実施され、町内から希望者19人の農家に合計650本の苗木が配布されました。このサンショウ苗木は今後、町内各地で植え付けされ、3年後の収穫を予定しています。



▲菰田県道路都市局長（左）に要望書を手渡す甲斐高士会長

重要路線の早期整備を要望

小川御船間道路整備促進期成会が要望活動

1月30日（木）、県庁で小川御船間道路整備促進期成会（甲斐高士会長）が要望活動を行いました。同会は、甲佐町・宇城市・御船町の沿線3自治体で構成。宇城市から御船町をつなぐ同区間は、通勤通学や物流において重要な路線ながら未整備区間も多いため、同期成会は早急な整備を要望。甲佐町からは、田口橋の新規歩道橋設置を要望しました。

子どもとのかかわり方を学ぶ

合同講演会を開催

1月19日（日）、甲佐小学校多目的ホールで「令和6年度甲佐町 PTA 連絡協議会・ライオンズクラブ国際協会337Ｅ地区クエスト・甲佐町青少年健全育成町民会議合同講演会」が開催されました。

同講演会は、町 PTA と同会議会員が、子どもや青少年の健全育成のための理解を深め、よりよい活動を促進していくことを目的として開催され、関係者６７人が参加しました。

同講演会ではライオンズクエストプログラム認定講師の篠田康人さんが「ワクワク元気！子どもを育む魔法のヒント」～ほっとする日曜日の朝をすごしませんか？～という演題で、子どもとのコミュニケーションのとり方や関わり方について講演。

参加者からは「何気ない一言や話し方、話す順番の大切さを改めて実感しました」、「自分の言動を振り返ることができてよかった。学んだことをこれから活かしていきたい」などの感想がありました。

▲（写真上）子どもとのかかわり方について話す講師の篠田さん
（写真下）コミュニケーションスキルを実践する参加者たち